鈴木　利貞さん

　板書計画

　　　　　　　　　　　　　明治十五年生まれ

　　　　　　　　　　　　　体が弱い　気が弱い

　　　　　　　　　　　　　本が好き　勉強ができる

利貞さんの写真

　　　　　　　　　　　となりの村と仲が悪い

　　　　　　　　　　　子どもも家の手伝い

　　　　　　　　　　　学校に行けないこともあった

農家

明治時代の

座間の写真

　利貞の願い

この村の現状を変えていくためには、時間が

かかっても小さな子どもたちを教育して、村の

ためになる思いやりを持った人に育てていくこ

とが大切である。君たちは進学して村を出て行

ってしまう。村に残るのは自分だけである。残

った自分が子どもたちを立派に育ててみせる。

お話し会

幼年会の約束

幼年会の写真

「話してあげるかわりに

（　　　　　　　　　　　）」

柿の木の下の誓い

　これから皆して仲よくして、家の方で

遊ぶときにも、学校で先生の言われる通り

にしよう。

（１）

（２）

（３）

（４）

座間っ子八つの誓い